

活動報告

団体名	NPO 法人 日本ファシリテーション協会
活動名	台風 19 号に関わる支援団体と被災地域の連携及び問題解決のための支援活動
活動期間	2019/10/20～2020/3/31
活動の成果	<p>各地の情報共有会議の支援をしてきた経験を活かし、各地で以下の成果を得た。</p> <p>1-①板書人材の育成では、会議での実践者を増やし、会議の目的や進め方・内容を参加者に理解してもらうことができた。また、各フェーズの変化に応じて、よりよい場づくりに貢献した。</p> <p>1-②情報共有会議の終了後、定期的なふりかえりの会を実施し、会議の進め方や共有すべき情報・フェーズや課題に応じた議題の検討を効果的に実施することができた。「外部支援者がいることで多角的な視点で考えることができた」等の評価を得た。</p> <p>2 次のフェーズを想定しながら会議支援ができた。また、継続的に支援を行うことで主催者へスキルだけではなくメンタル面のサポートもできた。</p> <p>人材育成としては会議を通して主催者へのファシリテーションの理解の促進や講座を通して育成した高校生、大学生が情報共有会議で板書補助や、テーマ別分科会の進行役や板書を担うことができ、板書人材、進行役の発掘・育成ができた。</p> <p>3 課題をわかりやすくまとめ、全国情報共有会議で扱う課題を明確にすることで寄与した。参加者同士からの疑問を解消するとともに、参加者同士のアイデアや意見を共有することができた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は貴重なご寄付をありがとうございました。災害時はほとんどの人がはじめての経験で混乱が続きます。だからこそ「地域コミュニティの再構築・住民主体の復興支援」「支援機関同士のネットワーク強化」を促進するための会議を有意義に運営していくために、ファシリテーションのスキルとマインドは不可欠です。ご寄付のおかげで支援活動を続けることができました。新たな支援のカタチですが「災害時の会議支援は協働促進に効果的である」という認識がさらに広がっていくことを願います。ご支援ありがとうございました。</p>

(活動のようす)

